

一般質問

出田 泰三 議員
市民の声



**さかいで大橋まつりについて
全市民対象のアンケート調査
の実施を**

A さかいで大橋まつりは、熱中症・太鼓台のかき手不足・多様性の観点から全市民対象のアンケートを実施し見直すべきだと思うが。

(建設経済部長)

質問の主な項目
・障がい者の雇用の水増し問題
について
・市民の安全・安心について

授乳室等の充実を

Q 子育て支援充実のため、授乳室やおむつ交換所等を記載したミニ冊子を作成してはどうか。

A 子育て支援には、乳幼児を連れたご家族が安心して外出できる生活環境の整備は不可欠です。

A 行政と協働して子育て家庭にやさしいまちづくりを推進することに賛同いただける施設において、おむつ替えができる設備・授乳の場・子ども用トイレ・妊婦用駐車場のうち2つ以上の設備が整っており、その設備を無料で利用できる施設については、香川県が「かがわこどもの駅」として認定し、県のホームページに施設の名称・住所・電話番号・利用時間・地図等が公開されています。本市では37施設が認定されており、これらの施設については、県のホームページを活用した情報提供に努め、利用者の利便性向上を図っています。

(健康福祉部長)



齊藤 義明 議員
市民の声



**避難勧告に従わない人が多い
理由とその対策は**

Q 避難勧告等が発令されても関わらず、避難しない人が多い要因とその対策は。

A 避難しない理由は、人それぞれであるとは思いますが、中央防災会議で示された資料によると、「自分が被害を受けるとは思わなかつた」「夜間・大雨の中、避難を選択する方が危険と判断した」などの回答内容を示す調査結果がありました。

また、避難勧告等に従つてもうらうための方策については、自らの命を守るために避難行動の重要性を粘り強く周知するとともに、住民が適時的確な判断ができるよう、どのようなときにはどのよな避難行動をとるべきかについて、日頃から周知徹底を図るための取り組みが重要であると考えています。

さらに、避難勧告等の情報が確実に伝わるように、さまざまな手段や媒体による周知にも、より一層留意していきます。

(総務部長)

がん検診及び特定健診の受診率を目標に近づけるための方策は

Q 「坂出市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げてある、がん検診及び特定健診受診率の目標値と実際の受診率には大きな差があるが、目標達成のための方策は。

A 40歳代の特定健診対象者内、過去3年間未受診の方へ、電話で受診勧奨を行っています。また、50歳代で過去3年間特定健診を未受診かつ過去1年間医療機関を受診していない方へ、保健師が訪問し、特定健診及びがん検診の受診勧奨を行いました。

今後も、検診(健診)の必要性についてより分かりやすく周知するとともに、検診(健診)期間の延長についても検討するなど、より受診やすい体制づくりを構築していくたいと考えています。

(健康福祉部長)

